

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024年12月6日
事業所名:	夢門塾ゆうゆう御立西

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	3	3	0	目的に応じて部屋を仕切る等、活動スペースの使い方を工夫し、十分なスペースを確保している。
	②	職員の配置は適切である	1	4	1	職員の数は少ないが、日々の人員は確保し、安全に運営できるようにしている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	5	1	0	おやつ前や、食事前のテーブルの消毒を徹底し、日々の清掃後の消毒作業を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返りに)、広く職員が参画している	6	0	0	スタッフミーティング時の話し合いや、連絡ノートを活用し、情報の共有に努めている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	アンケートの回答の集約を職員全員で共有し、改善点などを話し合い支援に生かしている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	6	0	0	ホームページで閲覧できるようにしている。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6	0	0	月に1度の全体研修に加え、接遇研修や管理者・児発管研修を行っている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	0	0	相談支援事業所様や保護者様と定期的にモニタリングを行い、課題等を共に確認しながら、計画を立て、職員間で共有する。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	6	0	0	職員全員で計画を立て、担当を決めて具体的にしている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	6	0	0	工作・運動等、高学年と低学年で無理が生じない内容を考え、利用者の興味や意欲を踏まえた支援を行っている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6	0	0	担当を決めて話し合い、決定している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5	1	0	主なプログラムは集団活動となるが、個々の課題に応じた個別活動(作業学習等)を取り入れている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	0	朝礼時に打ち合わせを行う。外出時などには特に役割分担を徹底して共有する。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	提供記録は必ず当日中に残し、職員で共有する。相談支援事業所様にも月に一度報告している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	半年に一度、定期的実施している。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	2	0	偏らないように工夫し、支援を行っている。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0	送迎時等、学校の先生方からの情報や、保護者様からの行事等の情報についてご協力が得られている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	2	3	1	相談支援事業所様とは月に一度の報告書提出をはじめ、細やかに連携し、相互理解できるようにしている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	4	1	1	電話等で必要なことを連絡している。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	2	相談支援事業所様を通じて伺うことが多い。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	0	0	コドモンを通じてご利用中の様子をお伝えする。特に気になる事については送迎時にお話しすることもある。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	6	0	0	契約時に詳しく説明している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	5	1	0	送迎時や電話・メールにてその都度対応させていただいている。また内容を職員間で共有している。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	6	0	0	年に一度保護者会を開催し、グループに分かれて話し合っていたくことで連携を取っていただく機会を設けている。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	0	その日のうちに連絡し、解決へと導いている。問題を職員間で共有する。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	0	0	月1回の夢通信・ゆめだより・長期休み時のしおりの配布に加え、細かい予定伝達はコドモンにてその都度お知らせしている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	6	0	0	契約時の肖像権の説明と、関係機関のみの共有について厳守している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	コドモンや送迎時に様子を伝える。子どもについては視覚支援を行いながら情報を伝えている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	5	1	0	地域の専門学校の文化祭に参加し、挨拶等のマナーを学んでいる。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5	1	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6	0	0	年に2回事業所内で行っている。年に1回防災センターに出向き、煙の中で避難する方法を体験している。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	年に一度の虐待研修の他、月に一度のスタッフミーティングで確認作業を行っている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4	2	0	該当児童がいない
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	3	3	0	ほぼ該当児童がいないが、いた場合は与薬票の確認、チェックの上、投薬を行う。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	6	0	0	スタッフミーティング毎に集計を行い、ヒヤリハットの重要性を再確認している。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
保護者様と共に情報の共有を図ることが出来ているため、引き続き取り組んでいく。						